

Active School Kai Project 令和5年度プロジェクト計画書（報告書）

学校番号	32	学校名	都留高校		
全・定・通	定	学年	1	在籍生徒数	4名
教育目標 (学力に関するもの)		基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を向上させながら、社会で必要とされるコミュニケーション能力を育成する。			
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質・能力		<ul style="list-style-type: none"> 仲間を大切にし、相手を思いやることのできる生徒。 主体的、創造的に考え行動できる生徒。 社会生活で基盤となる広い教養と知識を身に着けようとする生徒。 			

各教科の取組					
教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題	
国語	実社会で生活するために必要な知識及び技能	4	4	実社会ですぐに役立つ日本語力を身に付けさせるため、毎日の授業を通して基礎学力の定着を促進していく。	
	実社会で抱える問題について認識し、他者と共有するために必要な思考力、判断力、表現力	3	3	外国籍生徒や障がい抱えた生徒への支援などを通して、実社会で生きる上で各自が抱える課題解決の方法を模索し、互いに学び合う雰囲気醸成していく。	
	主体的に学びに向かう力及び自己肯定感を持ち他者を思いやる人間性	3	3	授業には皆主体的だが、事前の取り組みについては自己評価が低めなので、目的意識の持たせ方に更に工夫が必要だ。	
地公	現代社会で生きていく中で必要とされる基礎的な知識及び技能	3	3	基本的な知識の定着を図ったが、十分といえる程度には達していない。特に技能に関しては教材のさらなる工夫が必要である。	
	自ら主体的に正邪を判断し、行動することのできる資質	3	3	裁判の判例検討や社会的諸問題の事例検討等を通じて判断力や自ら考え行動できるための力を養いたい。	
	社会に対する興味・関心の向上並びに、社会の一員としてのアイデンティティの育成	4	4	具体的かつ身近な教材からの導入や地域の問題についての探究活動等を取り入れることでこれらの資質を育成していきたい。	
数学	四則演算などの基礎的な計算力の習得及び、分配法則など基本的な知識	4	4	基本的なところはできるようになったが、いまだにミスが多みられる。注意深く観察しながらミスを減らすように指導していきたい。	
	数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力	3	3	たすき掛けなどまだまだ練習不足な点があり、次年度への課題となった。	
	粘り強く課題に取り組もうとする態度	3	4	ついつい解答が目が行きがちだったところが、徐々にではあるが自分の解答までたどり着いてから、答え合わせができるようになってきた。	
理科	自然界が起こる事象を合理的に解釈する能力	4	4	身近な事象や思考実験を通して、合理的な考えを身に付けさせるよう努力はしたが、その定着の度合いは十分とは言えないと感じた。	
	観察、実習、実験のやり方を身につけ、その結果を科学的にまとめる能力	3	3	薬品や実験器具の使用の不都合に乗じて、積極的になれなかった。コアとなる実験、実習は取り入れなくてはいけないと思う。	
	学んだり、自ら見出した知識や方法を適切に発信できる能力	3	3	どうしても一方的な知識、技能の伝達に陥る傾向があった。ワークシートやパワーポイントを作らせて、学んだことを発表させる場面があってもよかった。	
英語	英語の働きの理解を深め、実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能	4	4	基礎力が定着できているよう、同じ英文を繰り返し音読するなど、振り返り・繰り返しがいよいよ重要である。	
	日常的な話題や社会的な話題について適切に表現し伝え合う能力	3	4	生徒間の学力差が大さく、もともと発言することができない生徒もおり、なかなか「伝え合う」レベルまで達していない。	
	異文化理解を深めつつ、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度	3	3	異文化に興味・関心を持つことが大切で、教科書の内容を踏まえながら、異文化理解につなげていくことが大切である。	
芸術	古典の書体、書風に関する知識	4	4	楷書と異なる行書の点画や線質の特徴と用筆と筆を理解し、全体の構成の技能を習得させていきたい。	
	線質、字形、構成を生かした表現する能力	4	4	線質や用筆を学び、点画の連続などの特徴を生かした表現を工夫し、構想させていきたい。	
	書道に興味・関心を持ち主体的、創造的に学ぼうとする態度	4	4	行書の美に関心を持ち、意欲的にその表現に取り組む姿勢を持ち、その美を味わおうという気持ちで取り組んでいきたい。	
家庭	生活を主体的に営むために求められる知識及び技能	4	4	生活者として自立、自律していくための知識・技術を実生活を生かせるように具体的に指導していく。	
	実験・実習等を発展させ実践的な活動を家庭や地域で行うことができる能力	3	3	欠席の多い生徒の指導をどのようにしていくかが、今後の課題となる。	
	生活の営みについて課題を見つけ主体的に改善を図ろうとする態度	3	3	自主的に行動できるように、SEE→PLAN→DO→SEEの活動輪を意識させる。	
保健	健康及び運動についての基礎的な知識並びに健康の保持増進のための実践力	4	4	運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身に付けるようにする。	
	生涯にわたっての豊かなスポーツライフを継続する資質や能力	4	3	合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する。	
	明るく豊かで活力ある生活を営む態度	3	3	運動に親しみとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度。	

教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題
情報				
総探	課題を見つけ、他者と協力・理解するとともに調査活動を実施する能力や資質	—	4	調査活動を目的や対象に応じた適切さで、生活かつ安定的に実施する。
	テーマの設定し計画を立案する能力、情報を分析する能力	—	4	課題解決に必要な情報を目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積する。
	他者と協働し学び合う態度、社会に参画し理想の社会を実現しようとする態度	—	4	自分の意志で課題に向き合い、自他の良さを認めながら、協働的に課題を解決する。

【授業アンケート】高評価数値の推移（%：小数点第1位まで）			
	R5中間	R5度末	
授業の始めに授業の目標を確認することができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%	100.0%
話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%	100.0%
他の人の話や発表に耳を傾けることができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%	100.0%
ノート等で授業の記録をすることができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%	100.0%
活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%	100.0%
授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%	100.0%
家庭学習（宿題や課題）と授業を、有機的に結び付けられることができた ①強くそう思う、②そう思う	75.0%	75.0%	75.0%
授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた ①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%	100.0%

保護者アンケート結果(学力に係わるもの)	
「学習意欲や基礎学力の向上につながるよう授業や教材に工夫がなされている」というアンケート項目については、ほぼ全ての保護者がほぼ達成できていると回答した。また、「成績評価は様々な観点から公正かつ公平に行われている」という項目については、全ての保護者がほぼ達成できていると回答してきた。	

授業アンケート等を踏まえた総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む)	
4名の生徒ではあるが学力差が激しく、一つの教室で授業を行うのには困難があった。パート展開できた授業においては個々の学力にあった深度で授業を進めることができた。日本語が不得手である外国籍の生徒もおり、授業展開、定期試験には各教科とも工夫が必要になった。生徒の反応、理解は十分とは言えないものの、各科目の目標には達成していた。しかし、家庭学習という習慣がない生徒がおり、いかに家庭での学習と結びつけるかが今後の課題となっている。	